



秋田市

社協だより



No.

52

平成23年1月発行

- 2 2010市社協トピックス
- 3 平成22年度 秋田市社会福祉大会
- 4 市社協特別会員・団体会員を募集しています
- 5 市民の皆様身近な市社協の事業
- 6 地区社協トピックス
いざという時のために
救急医療情報キット(安心キット)
各地区説明会開催中!
- 7 市社協・地区社協へのまごころのご紹介
- 8 桜雅会から寄付
子どもさんの春を応援します
～教育支援資金～
町内会での除雪に対する保険を補助します
市社協の各事務所のご案内
編集後記



平成22年10月18日開催 のびのび子育て出前講話『生まれてきてくれてありがとう』
「ボク、ママのお腹の中で、こんなに小さかったの？」赤ちゃんの人形を抱っこして、不思議そうな“ボク”と優しく見つめるママ。
出産も育児も大変だけど、生まれてきてくれたことに、本当に感謝です!!

迎春

会長 鈴木彪四郎



新春のつぶやき

高齢社会の真ただ中、小生はまもなく人生85年の試練を経過するところであり、時代の変化とともに常に勉強の日々を過ごしている。

小生は、戦前生まれで戦争体験者であり、戦場では、内務班に所属し、隣で今まで話しをしていた戦友が敵の鉄砲で狙撃されたり、爆風で吹っ飛んでいたり、生きようとそこから必死に逃げたり、死んでしまったほうが楽だと思ったりしたものである。でも、そうした状況下でも勝つために絶対生きると互いに誓ったものであった。

今、自ら命をたつ人が年間3万人もいるという痛ましい事態が起こっている。人それぞれいろんな要因はあるだろうが、私はそのときの戦場の思いがなぜか蘇って死というものを考えさせられる。

家族機能の衰退、地域の希薄化など人間関係や地域のつながり、絆が崩壊してきているためではないだろうかと思えてならない。そのためには、助け合い、支えあうという習慣が根付くことで、自ら命をたつ人を救う道標があるようにも思える。

この殺伐とした時代にメスを入れるのは誰なのか、政治、行政、関係者だけではなく、住民ひとりひとりが意識をもって、行動することで時代は変わり、自分一人で生きているのではなく、一社会人として生きているという自覚が必要な時代になってもらいたいと強く感じる今日このごろである。今年は卯年、改革に必要な情報に耳を立て収集する年にもしたいものだ。



この社協だよりは、共同募金の配分金を一部活用し発行しております。

2010 市社協トピックス

生き生きグラウンド・ゴルフ大会

平成22年7月29日太平山リゾートにおいて開催しました。これは、地域で福祉活動に取り組む方々や地域住民が親睦と交流を図り、社協活動への理解、協力を深めるために行っているものです。

多数の協賛や秋田市グラウンド・ゴルフ協会の協力のもと行うことができました。



参加者61チーム(305名)協賛企業(順不同、敬称略)

- | | | | |
|-----------------|--------------|-------------------|-----------------|
| ◎オートショップ神居 | ◎リコージャパン株式会社 | ◎竹谷金正堂 | ◎株式会社 へいあん秋田 |
| ◎有限会社伊藤整備工場 | 東北営業本部 秋田支店 | ◎株式会社アクティスソリューション | ◎秋田銀行 秋田市役所支店 |
| ◎株式会社フロム・エー | ◎株式会社とみや | ◎株式会社 トヨタレンタリース秋田 | ◎トップツアー株式会社秋田支店 |
| ◎株式会社アキタ電子システムズ | ◎株式会社菅生商店 | ◎日立キャピタル株式会社 岩手支店 | |

いきいきサロン

高齢者の生きがい事業として、様々な趣味活動を八橋・飯島・大森山の各いこいの家と雄和ふれあいプラザで行っています。対象は、おおむね65歳以上の方です。申し込みは不要で、直接会場へお越しください。



▲「尺八演奏を楽しむつどい」

【問い合わせ先】

秋田市社会福祉協議会 総務管理課
いきいきサロン担当/TEL 862-7445

のびのび子育て出前講話

市内の育児サークルや子育て支援団体に、子育てに関する講師を派遣し、多彩な講話や体験、交流を通して、安心して子育てができるよう支援しています。

参加団体の募集は、秋田市広報などでご案内しています。

【問い合わせ先】

秋田市社会福祉協議会 地域福祉課
のびのび子育て出前講話担当/TEL 862-7445



▲手遊び・うた・お話など、楽しさいっぱい!
「みんなであげよう わらべ唄の宝箱」より

セカンドライフいきいき講座 ～オヤジの学校inあきた～

50歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動など「社会への参加」をセカンドライフの生き方の選択肢の一つとして考えてもらうことを目的とし、4回の講座を開催しました。



▲だまご餅ができてにっこり

- 第1回目 笑いヨガ教室
～笑いながらヨガで効果倍増!～
- 第2回目 手話を習いましょう!
- 第3回目 ボランティア活動体験者のお話を聞きましょう!
- 第4回目 だまご鍋を作りましょう!

【問い合わせ先】

秋田市ボランティアセンター/TEL 862-9774

セカンドライフいきいき講座 ～傾聴ボランティア養成講座～

50歳以上の方を対象に、「傾聴」することで社会貢献できる「傾聴ボランティア」を育成し、各分野で活躍するため、5回の講座を開催しました。講座終了後、受講者有志でボランティア団体を結成しました。今後の活動に期待しています。



▲施設利用者と楽しくお話をしているところ

- 第1回目 講義 傾聴のために大事なこと
- 第2回目 講義 傾聴のためのロールプレイ
- 第3回目 実習 傾聴ボランティア活動体験
- 第4回目 講義 認知症とは/発表 実習体験談
- 第5回目 講義 高齢者福祉の現場から見えるもの

【問い合わせ先】

秋田市ボランティアセンター/TEL 862-9774

平成22年度 秋田市社会福祉大会

～広げよう 命を守る 地域の絆～

平成22年10月20日(水)
秋田市文化会館 大ホール 参加者800名



【講演】 今後、目指すべき秋田市の姿



秋田市長 穂積 志 氏

【アクション】 伝統芸能「天神あやとり」



国際教養大学学生「AIU秋田応援団」

【アクション】 秋田県民歌大合唱(会場の皆さんと共に)



メロー☆アコーディオン

表彰

平成22年度社会福祉功労者(順不同、敬称略)

◆本会の運営・改善・向上に特に功績のあった方

西島涼子・伊藤進

◆長年地区社会福祉協議会役員として社会福祉事業の推進に貢献された方

芳谷輝雄・奈良通也・佐々木文子・佐藤黎子・
保坂徳勝・福田宏子・塚田治誠・石川知子・
田中小夜子・小武海西子・田村高洞

◆地区社会福祉協議会活動、地域福祉活動や地域でのボランティア活動に長年尽力された方

赤津テイ・阿部サダ子・鈴木千恵子・佐藤智恵子・
神成恵子・相原トミ・相原貞子・佐々木ワカ・
渡辺兵衛・船木忠男・太田敏子・石川ツヨ・
大山憲三・秋田市新屋婦人会・佐藤郁子・
福永登美子・田中紀紅子・渡部キヨ・
佐藤裕子・今井洋子

◆長年にわたり家庭においてご家族の介護に尽くされた方

田村和子・船木直子

感謝状

(順不同、敬称略)

◆長年にわたり本会の事業推進に多大な貢献をされた方

藤澤浩・石井岩治・井川武敏

市社協特別会員・団体会員を募集しています。

【特別会員・団体会員会費】

秋田市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」を基本方針として、市民の皆様の福祉の充実のため活動しております。

つきましては、本会の活動や事業にご賛同いただける特別会員・団体会員を募集しておりますので、何とぞご協力のほどお願い申し上げます。

お寄せいただいた会費は、地域福祉を推進するための様々な活動に役立たせていただきます。

会員の区別		会費(年額)
特別会員	個人	—□ 1,000円
団体会員	社会福祉事業施設、団体	—□ 2,000円
	企業・法人	—□ 10,000円

※お申し込み・お問い合わせ先
秋田市社会福祉協議会 総務管理課 TEL 862-7445

秋田市社会福祉協議会団体会員(企業・法人)として、地域福祉を応援していただいている皆様をご紹介します。

【企業・法人の団体会員】(順不同、敬称略)

株式会社 かんきょう

秋田県石油商業協同組合

株式会社 フロム・エー

協和物産

(有)秋田三京

株式会社 くまがい印刷

清三屋商事株式会社

有限会社 工藤平版印刷

株式会社 アキタ電子システムズ

秋田トンボ株式会社

株式会社 高尾自動車整備工場

(有)金圓

株式会社 雄和振興公社

株式会社 菅生商店

第一石炭 株式会社

秋田印刷製本株式会社

株式会社 河辺清掃社

秋田マシンサービス株式会社

株式会社 へいあん秋田

(株)アシスト秋田営業所

澤田石晶税理士事務所

株式会社 ファイル・アキタ

有限会社伊藤整備工場

オートショップ神居

株式会社 小田島アクティ

株式会社 とみや 秋田営業所

(平成22年10月31日現在、28社よりご協力いただいております。なお、社名掲載については、ご承認いただいた企業・団体のみを掲載させていただきました。)

市民の皆様
に身近な

市社協の事業

秋田市社会福祉協議会では、社協会費、赤い羽根共同募金などを財源に、皆様のご協力・ご理解により事業展開しています。
ここでは、皆様に身近な事業をご紹介します。

ふれあいさんの派遣



急なケガ、病気等の時や産前産後などの世帯にふれあいさんを派遣し、短期間・単発の生活支援をします。
お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

地域福祉課 ふれあいさん担当/TEL 862-7445

移送車の貸出

自宅から通院、買い物、観光などのために移送を必要とする在宅介護の世帯の方へ車いすのまま乗れる軽自動車を出しています。

利用料は無料ですが、ガソリン代は自己負担です。利用には、申し込みや予約が必要です。お問い合わせください。



【問い合わせ先】

地域福祉課 移送車貸出担当/TEL 862-7445

生きがい用品、福祉教育機器、介護機器、車いす、子育て用おもちゃの貸出

福祉への関心向上、地域での行事や子育て支援、在宅介護での負担軽減を目的に様々な機器等を貸出しています。

貸出機器等のパンフレットは、窓口か当会のホームページから確認することができます。

利用には、申し込みや予約が必要です。お問い合わせください。



【問い合わせ先】

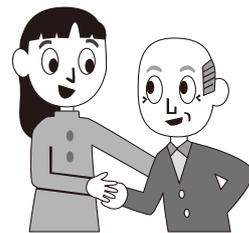
地域福祉課 貸出機器担当/TEL 862-7445

地域福祉権利擁護事業

判断能力が弱まった高齢者や知的障がい者、精神に障がいのある方々が、住みなれた地域で安心して暮らせるようお手伝いします。

サービス内容としては、福祉サービスに関する情報提供・利用手続きのお手伝い、日常的な金銭管理、大切な書類等の預かりなどがあります。
(相談・訪問調査・書類は無料。その他は、有料です。)

このサービスを受けるために、審査と契約が必要です。お問い合わせください。



【問い合わせ先】

地域福祉課 中央地区サポートセンター/TEL 862-0102

「ふれあい福祉相談センター」

日常生活の心配ごとや心の悩みなどご相談ください。
相談専用電話は018-863-6006で、面接相談もできます。

※たとえば…家族、職場や仕事での悩み、近所づきあい、生活の悩み、介護や老後、福祉全般、人間関係等

毎週/月曜日～金曜日(祝日、12月29日から1月3日を除く)

時間/午前9時～午後4時

場所/ふれあい福祉相談センター(秋田市八橋南一丁目8-2 秋田市老人福祉センター内)



地区社協トピックス

寺内小学区社協

安心キット事業説明会

11月13日、救急医療情報キット(安心キット)事業説明会が地区の町内会長、民生委員・児童委員、社協役員を対象に開催され、約30名が参加しました。

自宅で救急車を呼ぶときなどの「もしも…」に備えて、あらかじめ持病やかかりつけの病院などの医療情報を冷蔵庫に保管しておく安心キット。

初めて耳にした方も多量中、キットの使い方や事業の進め方などについて説明を受けた後は、ぜひ取り組みたいという参加者からの声が多く聞かれました。



安心キットの説明を受ける参加者(八橋地区コミセン)

新屋地区社協

愛情いっぱい「ふれあい弁当」

新屋地区社協では、婦人会を中心として平成3年から75才以上の単身世帯を対象にふれあい弁当を年2回、17年から80才以上の夫婦世帯にも年1回届けています。11月24日、今年度1回目のふれあい弁当の日。婦人会員による弁当の仕込みは前日から始まり、当日は朝9時から調理開始。11時頃には彩りの良いお弁当が189食完成しました。そして、各町内会役員や婦人会員が集合し、お弁当の配達に出発。「お弁当は必ず手渡しする」これは配達時のコミュニケーションづくりや安全面を考えて関係者が守っていること。配達から戻ると、対象者からの感謝の言葉や様子などが報告され、この事業の重要性が伺えました。



一生懸命お弁当の盛り付けをする
婦人会会員(西部市民センター)

いざというときの安心のために

救急医療情報キット(安心キット)各地区説明会開催中!

あらかじめ「かかりつけ医」や「持病」などの医療情報を専用の容器に入れ、自宅冷蔵庫に保管しておくことで、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」のときに、その情報を救急医療に活かすという取り組みです。



安心キットを備えておくと

ご本人が直接伝えることができなくても、救急隊員が安心キットの情報を確認することで、適切で迅速な対応ができること、また緊急連絡先の把握により身内などのいち早い協力が得られます。

どんな人が対象?

- 次の項目に該当する方で、希望する方が対象です。
- (1) 75歳以上の一人暮らしの方
 - (2) 80歳以上の方だけの世帯
 - (3) その他設置が必要と認められる世帯

安心キットの進め方

【問い合わせ先】 秋田市社会福祉協議会 TEL 862-7445

昨年10月から、ご要望に応じて各地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町内会長を対象にした説明会を開催してきております。準備が整った地区から順次、対象者の皆様へお知らせすることになります。キットは地区ごとの配布になりますので、各地区での説明会の開催についてご理解とご協力をお願いいたします。

まごころページ

平成22年12月10日まで届出分(順不同、敬称略)

秋田市社協へ お寄せ
いただいた善意のご紹介です。

香典返し

中山健・斉藤英生・二木満・米川栄久・加茂谷仁・
菅原雄一郎・五十嵐吉宣・平井洋子・相澤弘子・本間雅憲

物品寄付

佐藤憲一・菅原登志子・ピップトウキョウ(株)・
北日本コンピューターサービス(株)東北支社・工藤キヨエ

篤志寄付

(財)秋田市体育協会・瀾の会・ウェスターまつり実行委員会・
陸上自衛隊秋田駐屯地陶芸部・(医)白雄会白根病院・桜雅会・
サンパル秋田まつり実行委員会・東北電力(株)秋田火力発電所・
あずさ愛音楽事務所・日本編物検定協会秋田県支部・
秋田市仏教青年会・東部ガス(株)秋田支社・真如苑秋田支部・
石塚良吉・恵たまえ・佐々木賢治・斉藤良平・山上ケン・
藤田

地区へのまごころ

平成22年10月31日まで届出分(順不同、敬称略)

皆様から地区社会福祉協議会へ
お寄せいただいた善意のご紹介です。

香典返し

【中通地区】 深澤守・阿部芳人

【保戸野地区】 斎藤光雄

【旭北地区】 二階堂キエ

【八橋地区】 齋藤哲郎

【泉地区】 伊藤隆・佐藤洋子

【川尻地区】 檜岡茂美・小泉清彦・長門庄作・
渋谷幸和・渋谷肇・稲岡寛・
菅原金治・佐藤博道・三浦稔和・
佐藤一・佐藤佳彦・佐々木修・
信太裕憲

【茨島地区】 佐藤俊一・榎賀正子・斎藤興子

【牛島地区】 柴田睦子

【寺内地区】 亀井昌朗

【将軍野地区】 沓沢豊子

【新屋地区】 植田貴代子・田口明・佐々木美保子

【新屋勝平地区】 大野久人・高橋英子・梁田詔一

【豊岩地区】 佐藤充・田口優

【下浜地区】 布施倫明

【飯島地区】 保坂栄子

【外旭川地区】 中村清・鈴木淑子

【太平地区】 森合啓三

【仁井田地区】 高橋昭博・堀井繁

【四ツ小屋・御野場地区】 伊藤忠・田村武幸

【上北手地区】 鈴木一郎

【下北手地区】 柴田豊喜

【下新城地区】 三浦清徳・安田長兵衛・小瀧義久

【桜小地区】 杉山鏡子・奥山重男

【雄和地区】 大友與三郎・浅野善悦・長谷部茂夫・
長谷部一夫・伊藤順一・工藤昭子・
大宮テイ子・原孝子・佐々木康宏・
松山稔

篤志寄付

【中通地区】 佐々木赳夫

【旭川地区】 東北アートトラック連合観音一族秋田総本部

【飯島地区】 飯島飯田老人クラブ

【外旭川地区】 外旭川幼稚園保護者会・杉館二郎

【桜小地区】 和田孝子

【河辺地区】 田近医院・クマガイタケオ

桜雅会から寄付

桜雅会(代表 筒井雅子様)第11回歌と踊りのチャリティーショーが平成22年10月30日に秋田テルサで行われ、当日、当会へ68,250円の温かいご寄付をいただきました。大変ありがとうございます。この寄付は、平成16年から毎年いただいており、今回で7回目。今年でご寄付いただいた累計額は474,497円となりました。



当会ではいただいたご寄付を、地域福祉活動に使わせていただくこととしております。

除雪活動を行う町内会にボランティア行事用保険の掛金を補助します！

秋田市ボランティアセンターでは、町内会における除雪活動の際に、ボランティア行事用保険の掛金を**1町内につき年度内1回限り30人まで**全額補助します。

なお、希望する町内会は、活動日が平日の場合は2日前までに、また土・日の場合は木曜日午前中までにお申込ください。

お問合せは 秋田市ボランティアセンター
電話 862-9774

秋田市八橋老人デイサービスセンターの指定管理者になります！！

平成23年4月から、当会の事務所がある秋田市老人福祉センター内の秋田市八橋老人デイサービスセンターを、秋田市から指定管理者として受託し、管理・運営します。

秋田市の高齢福祉の発展・充実に努めてまいりますので、以前同様よろしくお願いいたします。

※当会が秋田市より指定管理者として受託している施設
(平成22年12月現在)

- ・秋田市老人福祉センター
- ・秋田市河辺老人デイサービスセンター
- ・秋田市雄和ふれあいプラザ
- ・八橋・大森山・飯島老人いこいの家、耕心苑

福祉一般、在宅介護、ボランティア活動などのご相談、ご意見を秋田市社会福祉協議会へお気軽にお電話ください。



〒010-0976
秋田市八橋南一丁目8-2
TEL 862-7445/FAX 863-6068



〒019-2625
秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1
TEL 881-1205/FAX 882-3467

高校・大学等入学の子どもさんの春を応援します！ ～教育支援資金貸付のご案内～

秋田市社会福祉協議会では次のような世帯を対象とした高校・短大・大学等の入学時の教育支援資金貸付の相談・受付を行っています。

◆対象

- ・低所得世帯で年収が低い他金融機関(銀行、日本政策金融公庫等)から借入れが困難である方
- ・奨学金制度に該当しない方

※母子世帯の方は市児童家庭課の母子寡婦福祉資金が優先となります。

◆申請の場合、下記の書類が必要です。

- ①合格(入学)証明書、在学中は在学証明書
- ②借入する金額がわかる書類等
(学校に係る経費が記載されたもの)

◆申請の方法について

- ①秋田市内在住の世帯で低所得世帯が対象
- ②連帯借受人が1名必要です。(収入のある世帯主)

ご相談・お申し込みは 秋田市社会福祉協議会
生活福祉資金担当 電話 862-7445

案内板

秋田市社会福祉協議会では、介護に関する相談受付やサービス提供もしています。お気軽にご相談ください。

○介護サービスを利用したいが、どうしたらよいかわからない。

居宅介護支援秋田事業所 TEL883-1468
居宅介護支援河辺事業所 TEL881-1203

○最近身の回りのことが自分ひとりではできなくなってきた。

ホームヘルパー事業所 TEL862-7929

○自宅での入浴が困難になってきた。でも、施設には行きたくない。

訪問入浴事業所 TEL862-8831

※タオル、シャンプーは当会でご用意します。

編集後記

みなさんは、良いお正月を迎えられたでしょうか。

昨年は、予想以上の猛暑が続き、暑いと思ったら急な冷え込みになりました。また、経済は相変わらずの不景気。政治は、総理の相次ぐ辞任に加えねじれ国会…とてもじゃないが、体も何もついていけないというのが本音でした。

さて、今年の干支はうさぎです。干支の縁起話としては、「うさぎの穏やかな様子から家内安全、跳躍する姿から飛躍を表している」そうです。

いつも良い話のようにいませんが、今年こそは干支のうさぎのように行きたいものです。

